

ぴあ

2022年度 上期のご報告 2022.4.1-2022.9.30

情報誌『ぴあ』創刊(1972年)から50年

創業50周年感謝イベント

をぴあアリーナMMで開催

約8,000名のお客様が来場

感謝とともに

100年企業への決意を新たに

大規模音楽フェス、
花火大会なども

集客エンタメ市場は復調の兆し

盛況

当社50周年記念公演も各種開催



書籍『シエイソン流お金の増やし方』
累計 **55万部** を突破
オリコン年間BOOK
ランキング2022 **1位**
を獲得

協業による新たな進化を

三菱地所 株式会社
MECぴあクリエイティブ 設立

朝日新聞社
とタッグを組み新体制
ぴあ朝日ネクストスコープ
(PANX)

ぴあ創業者・矢内 廣
自伝
『岩は、動く。』
を年末に発行



上期売上高(旧基準)
コロナ禍前を上回る
過去最高
通期予想も **上方修正**

追い風

チケット事業・
主催興行の好調
ぴあアリーナMM
稼働率の向上

PIFF
PIA FILM FESTIVAL
第44回 開催

チームスマイル活動を終了

皆様に支えていただいた11年間に感謝





代表取締役社長
矢内 広

ぴあを応援してくださる皆様へ 創業50周年の感謝とともに、 100年企業への決意を胸に

お陰さまで、創業50周年を 無事に迎えることができました

私がまだ学生であった1972年7月10日に情報誌『ぴあ』を創刊して以来、当社は今年の7月10日で創業50周年を数えました。資金も人脈もノウハウも何もないところからのスタートでしたが、皆様のお陰でこの日を迎えることができました。去る11月17日には、株主の皆様へこれまでのご支援への感謝の想いを直接お伝えするため、感謝セレモニーとスペシャルライブを「ぴあアリーナMM」で開催いたしました。ご多用の中、4千名を数える株主様ならびにそのご家族の方々からご出席の返事をいただき、ご来場を賜りました。皆様の笑顔と心温まる拍手に感激もひとしおでした。また、当日お越しの株主様には、ぴあという会社の在りようを言語化した「ぴあコーポレートアイデンティティ(CI)」と、これを作るために2年以上にわたって議論を重ねた会議(CIサロン)の議事録『私のぴあ50年史』を特別にお配りしました。皆様には、創業者である私の50年の歴史を通じて、ぴあがどのように生まれ育ち、そしてどんな会社を目指してきたのかを、多少なりともご理解いただけたかと思えます。

待ちに待たれた集客エンタメ市場の復調

さて、コロナ禍の影響は未だ続いておりますが、集客エンタメ市場は明らかに復調に転じつつあります。これまで抑制されて

きたエンタメ活動への反動消費もあり、大規模な夏フェスや花火大会、スポーツイベントなどはどれも大盛況でした。当社の主催事業も、今年は創業50周年記念公演として全国各地において様々なジャンルで開催され、大勢のお客様に足を運んでいただきました。多くの公演が収容率100%で開催され、入国規制の緩和等で来日公演が増加したこと、また下期に開催予定の大型興行の券売が一斉に始まったこともあり、チケット事業は概ね好調に推移しています。また、ぴあアリーナMMの稼働率の向上、出版商品のヒットも追い風となり、売上高(旧基準)は、コロナ禍前の2018年度をも上回って過去最高となり、通期業績予想も上方修正いたしました。とはいえ、コロナ禍の影響は依然として予断を許さず、むしろ兜の緒を締め直し、役員・従業員一丸となって、引き続き集客エンタメ産業の回復、そして成長に向けて尽力してまいります。

時代の変化に即し、将来を見据えた プロジェクトも本格スタート

様々な時代の変化とともに歩んできた50年ですが、ぴあを取り巻く集客エンタメ業界の環境は、さらにその変化を早めており、テクノロジーの進化とぴあの強みを生かし、次の10年を見据えた中長期ビジョンの策定にも着手しております。仮想空間に若手アーティストたちの活動の場を提供し、そのライブを楽しむユーザーと直接交流できるスマートフォンアプリ「NeoMe

(ネオミー)」のリリース、世界最高水準となるXRコンテンツ専用の収録スタジオ「HANEDA xR STUDIO」への出資やXRライブの開催などは、まさにそうした取り組みの一例です。既存事業を拡充しつつ、新規事業への挑戦にも注力することで、さらなる“変身”を加速させていきたいと思っております。

ノウハウを融合し、 集客エンタメ産業に新たな進化を

昨年、業務・資本提携した三菱地所株式会社とは、本年5月に合弁会社「MECぴあクリエイティブ株式会社」を設立しました。今期新設したヴェニュー・マーケティング事業局を窓口とし、新たな施設の検討や、エンタメをフックにした街の活性化への取り組みなど、協業の具体化を進めております。また、デジタルマーケティングが進化する中、当社のノウハウを活用した新たなソリューションメニューを提供するために設立した「ぴあネクストスコープ」は、朝日新聞社とタッグを組むこととなり、「ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社(PANX)」と社名も改め、新体制となりました。両社グループが持つ強みを融合し、今までにない独自のサービス開発を図る予定です。様々な社会の変化やニーズに適応すべく、今後もこうした新たな協業を拡充してまいります。

チームスマイル活動を終了、 その想いは引き継がれていきます

2011年の東日本大震災直後のボランティア活動に端を発し、エンタテインメントには被災者の方々を元気づけ、勇気づける力があるはずだと信じて発足した「一般社団法人チームスマイル」は、震災から10年間という当初の目標を達成し、その活動を年内で終了することといたしました。エンタメを通じた「心の復興支援活動」を支えてくださった企業、団体、地元の皆様やボランティアの方々、そしてこの活動にご理解をいただいた株主

の皆様のお力添えがあってこそこの11年間でした。この場をお借りして改めて厚く御礼を申し上げます。チームスマイルの活動は終了しますが、4つのPITはそのまま残り、「いわきPIT」「釜石PIT」は地元の企業・自治体が、「豊洲PIT」「仙台PIT」は当社が、引き続き運営してまいります。

また末筆ながら、創業50周年を節目に、恥ずかしながら私の自伝を残すことにいたしました。『岩は、動く。』というタイトルで、12月末に当社より発刊いたします。このタイトルには、大きな岩のように、誰もが無謀だ、不可能だと考える目標も、信念を持って押しているうちにどんどん仲間が増え、やがて多くの仲間の力で一度転がった岩は、その後はゴロンゴロンと勢いよく転がっていくさまを意味しています。動かないはずの岩が何度も動いた、ぴあの50年の歴史をまとめましたので、拙い著書ですがご一読願えましたら幸いです。

ぴあが無事に50歳の誕生日を迎えられましたことに、重ねて厚く御礼を申し上げますとともに、次は来る100年企業を目指し、役員・従業員一丸となって努力を続けてまいり所存ですので、どうか引き続き、温かいご愛顧とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ぴあ創業者・矢内廣がこれまでの歩みを刻む 自伝『岩は、動く。』

創業50周年を機に、創業者である社長の矢内廣が、初めて自伝をしたためました。生い立ちから、情報誌『ぴあ』の創刊、「チケットぴあ」のスタート、幾度と経験した経営危機や発明のエピソード、そして今日までぴあを支えてくださった株主の皆様への感謝の気持ちなどが、綿々と語られています。ぜひご一読ください。
ぴあ刊/12月30日発行/定価 本体2200円(税別)



2022年度上期の主な活動

■チケット流通事業 ■コンテンツ事業 ■ソリューション事業 ■会場事業 ■メディア&プロモーション事業 ■社会貢献・CSR活動 ■IR活動

4月

- 第43回ぴあフィルムフェスティバル「グランプリ作品『ばらぬん』(東盛あいか監督)が劇場公開
- 三菱地所との合弁会社「MECぴあクリエイティブ株式会社」を設立
- ぴあ総研初のシンポジウム「集客エンタメ産業による日本再生の意義」開催
- ぴあ×AIR「Japan Sports Week 2022」出展
- バーチャルライブプラットフォーム「NeoMe」提供開始
- ぴあMOOK『Denny'sぴあ』重版
- 「METROCK 2022」(大阪・東京)を主催

5月

- 文化庁事業「地域の伝統行事等のための伝承事業」において「新型コロナウイルス対策に対応したチケット発行/入場管理システム」を提供
- 「JAPAN RUGBY LEAGUE ONE」の「オフィシャルファンマーケティングパートナー」契約を締結
- 第49回定時株主総会を開催。オンライン配信も実施

6月

- 「ぴあ50th Anniversary MTV LIVE MATCH 2022.07.10」(横浜)を主催
- 「ぴあ50th Anniversary MUSIC COMPLEX SPECIAL EDITION」(横浜)を主催
- 「2022 神宮外苑花火大会」を主催
- スマホアプリ「ユニタビ」サービス開始。観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」に参画
- 「第44回ぴあフィルムフェスティバル」を開催
- ぴあMOOK『森のカフェと緑のレストラン』5刷実施、東海版3刷実施
- 「ぴあ創業50周年を迎える。記念特設サイトをオープン、記念ムービーを公開

7月

- ぴあMOOK『アゲアゲめし公式ガイドブック』第8回沖縄書店大賞 沖縄部門準大賞を受賞

8月

- ぴあの初プロデュース XR LIVE「SiM XR LIVE」全世界配信
- 浅田真央アイスショー「BEYOND」全国ツアー(全国17会場・約70公演)を主催
- サッカーJリーグ FC東京vs横浜F・マリノス「ぴあDay」開催
- ぴあ刊『サツキとメイの家のつくり方』5刷実施

9月

- ぴあネクストスコープ(株)に朝日新聞社が出資参画、「ぴあ朝日ネクストスコープ(株)(PANX)」に
- 「ぴあ50th Anniversary PIA MUSIC COMPLEX 2022 -ぴあフェス-」(東京)を主催
- 「tvk・ぴあ50th anniversary LIVE 2022~感謝のカタチ~」(横浜)を主催
- ぴあ刊『羽生結弦語録II』重版、『羽生結弦語録』6刷実施

10月

～創業50周年を迎えました～



ぴあ50th

創業50周年感謝イベントを開催



去る11月17日、日頃からご支援いただいている皆様に50年の感謝の気持ちをお伝えしたく、ぴあアリーナMMにおいて、記念イベントを開催いたしました。ご多用の中、株主様とのお連れ様約4,000名をはじめ、ぴあカード会員様、ぴあアプリユーザー様、お取引先様、従業員とご家族など、約8,000人の方々にご来場くださいました。

第1部は感謝セレモニーとして、50年の歩みを振り返る記念ムービー（詳細は右記参照）を上映。その後、社長・矢内のご挨拶を皮切りに、ぴあを長年応援してくださっている、秋元康氏（作詞家）、三枝成彰氏（作曲家）、野村萬氏（能楽師、狂言和泉流、(公社)日本芸能実演家団体協議会会長）、川淵三郎氏（日本

トップリーグ連携機構会長）にご登壇いただき、また松任谷由実氏（シンガーソングライター）、林真理子氏（作家・日本大学理事長）からはビデオメッセージで、ぴあとの思い出やぴあがやってきたことの意味について、貴重なエピソードとともにお話いただきました。最後は、開会の言葉としてぴあの紹介をしてくださった倍賞千恵子さんと小六禮次郎さんによる歌唱&ピアノ演奏で締めくくられました。



続く第2部は、チームスマイルの活動をはじめ様々な形でサポートをしてくださっている布袋寅泰さんによるセレブレーションライブ。映画やドラマの主題曲を取り込んだ、本イベントのためだけの特別なセットリストで、誰もがー



度は聞いたことがある名曲が散りばめられた贅沢なパフォーマンスが繰り広げられました。来場者の方々からも、その企画内容のアイデアや豪華さに大満足、とのお声をたくさんいただきました。

会場ホワイエには、情報誌『ぴあ』の表紙イラスト（作・及川正通さん）や、バックナンバーなどの展示に加え、数えきれないほどの祝花と来場者の皆様の笑顔が溢れ、改めて感謝の想いを新たにしつつ、無事に閉会しました。

創業50周年記念ムービーを公開中



ぴあの50年の歩みを時代とともに振り返る記録映像を制作しました。「PFFアワード1993」の入選監督である山岡貴貴さんが監督を、ぴあの大ファンを公言されるフリーアナウンサーの笠井信輔さんがナレーションを引き受けてくださり、5章立て、約20分ほどの短編ムービーに仕上がっています。ぜひご覧ください。

「はじめて遊びがあった」
～ぴあの50年、
これからの50年～



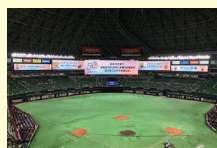
▶ <https://w.pia.jp/t/pia50th-movie-all/>



当社主催50周年関連イベントを全国各地で開催



MUSIC COMPLEX SPECIAL EDITION
(@ぴあアリーナMM)
7/9開催



プロ野球 パリーグ「ぴあDAY」
福岡ソフトバンクホークス vs 埼玉西武ライオンズ
(@福岡PayPayドーム)
9/13開催



PIA MUSIC COMPLEX 2022 -ぴあフェス-
(@若洲公園)
10/1・2開催

ぴあ演劇学校
(@TOKYO FMホール)
10/1・2開催

▶一部の主催公演では、当社社様のご招待企画も実施し、お楽しみいただきました。

Jリーク	●ガンバ大阪vs清水エスパルス「ぴあパートナーデー」 GAMBA EXPO 2022 ▶ 8/14開催
音楽	●FC東京vs横浜F・マリノス「ぴあ Day」▶ 9/3開催 ●浦和レッズvsサガン鳥栖+パンのフェス▶ 10/8開催
演劇	●tk・ぴあ50th anniversary LIVE 2022～感謝のカタチ～▶ 10/29開催 ●ぴあ・tk 50th Anniversary「STAY ROCK! 2022」▶ 10/30開催
	●ぴあ創業50周年記念公演 劇団四季「キャッツ」名古屋公演 ▶ 8/5開催 ●宝塚歌劇雪組 グランドミュージカル「蒼穹の狼」ハロウィンスペシャル貸切公演▶ 10/30開催



神宮外苑 花火大会
8/20 開催



◎深野輝美

ぴあの最新MOOK&書籍



羽生結弦語録II
[10月発売]



文具女子博2022
パーフェクトガイド
[10月発売]



人生で一度は行きたい
関東の神社
[10月発売]



古民家の
カフェとレストラン
[9月発売]



ぴあMUSIC COMPLEX (PMC) Vol.23
[6月発売]



ジェイソン流 お金の増やし方
[2021年11月発売]

ジェイソン流 お金の増やし方
[2021年11月発売]

軽快な語り口と自身の経験を踏まえた実例で分かりやすく投資をレクチャー。先日「オリコン年間“本”ランキング」で一般書籍部門にあたる「オリコン年間BOOKランキング 2022」、「2022年 楽天ブックス 年間ランキング」と書籍総合部門「1位を獲得しました。

～ 持続可能な社会に向けて～

集客エンタテインメント市場は回復へ 『2022ライブ・エンタテインメント白書』を発行

びあ総研は、ライブ・エンタテインメント市場規模について、2021年はコロナ禍前の2019年に対して51.2%減の3,072億円と公表。2022年に関しては現時点まで、大規模会場での公演や全国ツアーが次々と再開し、人流や経済活動の回復とともに緩やかに浮上に向かっており、5,176億円と推計、「ウィズコロナのリアルイベント開催」が定着した年と分析しています。2023年には、コロナ禍前の市場規模水準に戻り、以降、年成長率2.4%という将来予測を発表しています。

また、びあ総研が毎年調査・編集を行っている『ライブ・エンタテインメント白書』が今年も10月に発行されました。国内ライブエンタメ市場の詳細データに加え、特別企画として「2020年代、ライブエンタメ産業に何が起り、これから何が起ころうとしているか」をテーマに、アンビシステム代表取締役社長・中川悠介氏、インクストウエンター代表取締役・田村優氏、ドワンゴ専務取締役CCO・横澤大輔氏による座談会を行い、コロナ禍前後でのライブエンタメを取りまく環境の変化と今後の可能性などが語られました。そのほか、新型コロナウイルス感染拡大とライブエンタメ時系列事象に関する年表、コロナ禍でのライブエンタメ参加実態に関する消費者アンケートなどが収録されています。



去る5月19日に、びあ創業50周年、びあ総研創業20周年に際し、初のシンポジウム「集客エンタメ産業による日本再生の意義」を主催しました。



次世代の映画監督を輩出 「第44回ぴあフィルムフェスティバル」を開催

当社がCSR活動として参画する(一社)PFF主催「第44回ぴあフィルムフェスティバル」が開催されました。「映画の新しい才能の発見と育成を目指す」活動の一環として毎年開催され、すでに170名以上の映画監督を輩出しています。今年の「PFFアワード」では、520本の応募作の中から河野宏紀監督の「J005311」がグランプリを受賞しました。

また、製作から劇場公開までをトータルプロデュースする第26回PFFスカラシップ作品「すべての夜を思い出す」(清原惟監督・PFFアワード2017グランプリ受賞)が世界初上映されました。若くて新しい才能をさらに飛躍させ、日本映画の活性化に取り組んでまいります。



「チームスマイル」、 東北の「PIT」で締めくくりに「感謝の会」

2011年の震災直後より復興支援活動を続けてきた「チームスマイル」は、2022年内をもって「PIT」の運営を継承します。初期の目標だった10年という活動期間を達成できた感謝の気持ちを地元の皆様へお伝えするために、いわき・釜石の各「PIT」で感謝の会を実施しました。各会では「わたしの夢」応援プロジェクトにも参加していただいたアーティストによるステージも開催し、いわきには倍賞千恵子さんと小六禮次郎さん、釜石には布袋寅泰さんにお越しいただき、地元のお客様にお楽しみいただきました。なおこの両「PIT」の運営はそれぞれ地元の企業や自治体が継承、「仙台PIT」と「豊洲PIT」については当社が継承し、今後も存続します。(豊洲PITは2023年1月から継承予定)



三菱地所との合併会社を設立 「MECぴあクリエイティブ株式会社」

「集客エンタテインメントと街づくりの一体化を進める」ことを目的に、三菱地所と2021年5月に業務・資本提携を締結。さらなる協業を推進すべく今年5月に合併会社「MECぴあクリエイティブ株式会社」を設立しました。両社では、ポスト・コロナにおいて、「街に来ること、街にいることの価値」を高め、「人々のQOL(Quality of Life)向上に集客エンタテインメント産業が不可欠になる」との共通認識に立ち、双方のノウハウを融合させ、ライブ・コンテンツ施設の経営・運営機能、集客コンテンツ、街への波及効果とデータ・マーケティングの強化などに取り組んでまいります。



朝日新聞社が参画し、新体制に 「ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社」

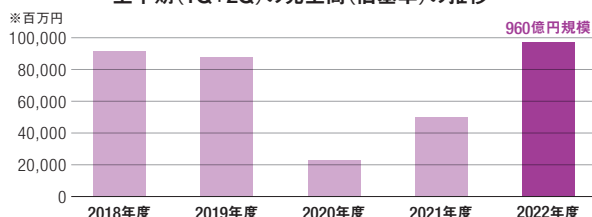
当社が保有する「ぴあネクストスコープ」の株式の一部を、朝日新聞社及び日本アジア投資へ譲渡したことに伴い、10月1日より「ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社」(通称:PANX(パンクス))に社名も変更し、新体制でスタートしました。データマーケティングノウハウを活用し、集客エンタメ業界を中心に各種ソリューションを提供してきましたが、今後は多数の媒体と顧客基盤、営業体制(営業力)を抱える朝日新聞社の強みを融合させ、これまでになかった独自の価値を生み出し、事業成長の最大化を目指します。



右:社長・木戸文夫(びあ)
左:副社長・崎川真澄(朝日)

ぴあの決算ハイライト

上半期(1Q+2Q)の売上高(旧基準)の推移



今期の集客エンタテインメント市場は、多くのイベントが収容率100%の開催に転じたほか、外国人の入国規制の緩和等を受けて来日公演も増加しており、復調傾向にあります。第1四半期に続き、音楽公演の全国ツアーや大規模フェス、プロスポーツの国際大会等の大型案件が市場の回復と共に続々と開催され、獲得案件数の増加やチケット単価の上昇も相まって、チケット売上高も好調に推移しました。加えて、びあアリーナMMの稼働日数が増加傾向にあることや、出版の前期商品が引き続き好調であることにより、「収益認識に関する会計基準」を適用しなかった場合の売上高(旧基準)は960億円規模となり、過去最高を記録した2018年度第2四半期累計期間の売上高950億68百万円を上回る水準となりました。2022年8月12日公表の通期業績予想は、営業利益、経常利益、当期純利益において上方修正し、売上高(旧基準)ベースでは、当初見込みの約1,600億円から、1,800億円を上回る規模への増加を見込んでいます。

当社財務情報はホームページでもご覧いただけます。 <https://corporate.pia.jp/ir/>

会社情報 (2022年9月30日現在)

会社概要

商号	ぴあ株式会社 (PIA Corporation)	
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー	
設立	1974年12月	
資本金	5,942百万円	
社員数(連結)	321名	
事業内容	音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、コンサートやイベントの企画・制作・運営、スポーツ団体・劇団・ホールなどへの各種ソリューションサービスの提供、ぴあアリーナMMなどホール・劇場の企画・運営、エンタテインメント・レジャー領域を中心としたネットメディアや出版物の企画・編集など、エンタテインメント全般に付随する各種事業	
役員	代表取締役社長	矢内 廣
	取締役副社長	木本 敬巳
	専務取締役	吉澤 保幸
	常務取締役	村上 元春
	取締役	小林 覚
	取締役	東出 隆幸
	取締役	川端 俊宏
	取締役(社外)	宮本 暢子
	取締役(社外)	一條 和生
	取締役(社外)	宮地 信幸
	取締役(社外)	石田 宏樹
	取締役(社外)	村井 満
	常勤監査役(社外)	能勢 正幸
	監査役(社外)	松田 政行
	監査役(社外)	新井 誠
	監査役(社外)	宮地 悟史
主要グループ会社	チケットぴあ名古屋株式会社 チケットぴあ九州株式会社 ぴあ総合研究所株式会社 ぴあグローバルエンタテインメント株式会社 ぴあフィールドサービス株式会社 株式会社東京音協 MECぴあクリエイティブ株式会社 ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社(2022年10月1日より)	

株式の状況

発行済株式総数	15,346,513株
株主数	25,434名

主な株主

株主名	持株比率(%)
矢内 廣	19.88
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	9.18
KDDI株式会社	9.12
凸版印刷株式会社	7.09
きらぼしキャピタル東京 Sparkle 投資事業有限責任組合	5.32
株式会社セブン&アイ・ネットメディア	4.59
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	4.59
三菱地所株式会社	4.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4.37
矢内アセットマネジメント株式会社	1.31

株式メモ

上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	4337
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日(中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です)
公告方法	電子公告(URL) https://corporate.pia.jp/ir/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	
電話お問合せ先	TEL.0120-782-031
インターネットホームページ	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主優待のご案内

株主優待制度について

2022年3月31日現在の株主の皆様に対し、以下の通り株主優待を実施しています。

1. 優待品目

① オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカードから、下記優待金額(年2,500~11,000円)の範囲内で自由に組み合わせて事前に選択していただくことができます。

② アプリ [有料コンテンツの利用]

年6,000円分

2022年3月31日時点で2期継続、100株以上を保有していただいている株主の皆様は、通常年間6,000円がかかる「ぴあ」(アプリ)の有料コンテンツを1年間無償でご利用いただけます。詳しくは、対象となる株主様に別途送付されるお知らせをご覧ください。

2. 優待区分

保有株式数	保有期間	2期以上(1年超)継続保有	
	2期末満(1年未満)保有	優待	アプリ
1,000株以上	5,500円分	11,000円分	年6,000円分
100株以上	2,500円分	5,000円分	年6,000円分

DXへの取り組み

バーチャルライブをアプリで楽しむ!

5月にリリースした「NeoMe」(ネオミ)は、ユーザーがアバターとなってバーチャル空間に入り、最新のXR技術を使ったバーチャルライブや交流を楽しめるスマートフォンアプリです。現在はインディーズを中心とした若手アーティストの映像作品を配信するバーチャルイベントを中心に展開しており、今後も様々なアーティストのライブパフォーマンスをお届けします。

海外からも大反響 XRライブを配信

XRコンテンツ専門の収録スタジオ「HANEDA xR STUDIO」では、当社をはじめ得意領域の異なる複数のクリエイティブ企業が共同経営し、XRコンテンツを制作しています。第一弾作品のアニメ「進撃の巨人The Final Season」(放送: NHK)OP曲のMVは約3,000万回再生され、9月末には最新技術を駆使したXRライブを配信するなど、新事業の定着と拡大を目指しています。

「ぴあ」(アプリ)、さらに機能充実!

情報誌「ぴあ」の流れをくみ「エンタメとの偶然的出会いと発見」を提供する「ぴあ」(アプリ)は5年目に入り、累計150万ダウンロードを突破、WEB版も展開しています。試写会や公演へのご招待などの特典を拡充し、縦型ショート動画とライブ配信の導入や、音声コンテンツ企画「きくぴあ」の提供など「+α」を生み出す機能がさらに充実しました。